



News Letter

みんなのまちづくり

第32号/2009. 8. 28

発行 明姫幹線南地区 まちづくり協議会 広報部会

第五回総会開催！

去る7月12日（日曜日）午前10時から伊保東部自治会館にて第五回総会が開かれました。前回と同様に、明姫幹線南地区内である伊保東部の自治会館を利用させていただきました。

総会の出席者は41名でした。議案については、原案どおり了承されました。今年度は役員改選の年であり、新しく塩崎真一郎さんが会長となり、2年間ご苦勞いただくことになりました。

意見交換では「協議会の今後の方針を教えてほしい」、「資材置き場の利用制限を行ってほしい」等の意見がありました。

これに対し、事務局（市）側からは、「協議会発足当初は市街化区域編入に向けていろいろ検討を行ってきましたが、近年全国的に人口が減少して、市街地の空洞化がおこり、まちづくりの考え方が変化し市街化区域編入が難しくなっています。

このため現在市街化調整区域の

まちづくりも視野に入れ、その手法の1つとして、地区計画の策定基準を作成しているところ です。」との回答を頂きました。

また、発足当初より当協議会に尽力頂いてる樋口都市設計の樋口信子さんより「当初は市街化区域への編入を目的に発足したのですが、現在協議会は将来の土地利用のために、資材置き場等環境を悪化させるものがくるのを予防することに力点を置いた活動になっています。市の条例もない中で、自主ルールを作って地域を守っているということは立派な活動だと思います。市の財政が好転し、道路整備、排水整備が整って地区計画等の制度を利用して皆さんが望むまちづくりを行っていただければと思います。また法律、制度も変わっていきますので、その都度皆さんにお知らせしていけたらと思います。」とアドバイスを頂きました。



第五回総会の様子

～ 新会長の挨拶 ～

梅雨明けの猛暑ひとしお、明姫幹線南地区まちづくり協議会会員の皆様方におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

去る、七月に開催されました第五回総会で会長に選出されました塩崎真一郎でございます。

伊保西部農会代表として協議会発足から関わってきておりますが、当地域は、高砂市のいわば中心になるべきところですが、市街化区域への編入になれば、今現在市の人口が停滞、減少している状況は一挙に解決し、ますます発展していくと考えられます。そこで市街化区域への編入を急ぐわけでございますが、現在市の財政状況を考えますと、急には達成できそうにないので状況が好転するまで我慢して頂きたいと思っております。

市には、財政状況が良くなった段階で、この明姫幹線南地区のまちづくりに力を傾注して頂きたいと思っております。それには、勿論皆様のご協力、また英知を結集して、当たらないければなりません。

そして、この高砂市に残る有能な農地をこれを以上悪化させていくことのないように皆さん共々頑張ってくださいと思いますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



明姫幹線南地区まちづくり協議会 会長 塩崎 真一郎

事務局からのお知らせ

明姫幹線南地区まちづくり協定の対象となる地区で土地建物の形質変更（建築物の新築・増築・改築や土地利用の変更等）を行おうとする場合、行為を行う前に「まちづくり協定の区域内における行為の届出書」を事務局まで届出して下さい。未来に誇れる緑豊かで美しく住みよいまちづくりを推進するため、ご協力宜しくお願い致します。



(広告)

新 役 員

○ 5 役

役 職 名	氏 名	部 会	備 考
会 長	塩崎 真一郎		伊保西部農会代表
副 会 長	田 中 義 勝		伊保東部農会代表
副 会 長	砂 川 周 三		中筋西農会代表
会 計	南 達 男	広 報 部 会	公 募 (C 地 区)
書 記	宮 宅 勇 二	広 報 部 会	公 募 (A 地 区)
会計監査	高 谷 照 男	環 境 管 理 部 会	伊保中部農会代表
会計監査	柴 田 一 郎		中筋東農会代表

○ 地区幹事

地 区 名	氏 名	部 会	備 考
A 地 区	糟 谷 格		伊保東部農会代表
	水野 寅治郎	環 境 管 理 部 会	伊保東部自治会代表
	福 谷 初 保		伊保東部自治会代表
	増 田 秀 明		伊保中部自治会代表
	橋 本 勝 行		伊保中部自治会代表
	位 田 篤 男		伊保中部農会代表
	田 中 静 代	広 報 部 会	公 募
B 地 区	位 田 貴 佳	環 境 管 理 部 会	伊保西部農会代表
	西 野 義 清		伊保西部農会代表
	加 茂 峯 生	広 報 部 会	伊保西部自治会代表
	柴 田 良 之		中筋東農会代表
	北 重 光	広 報 部 会	中筋東自治会代表
	柴 田 秀 勝	環 境 管 理 部 会	中筋東自治会代表
	熊 田 勝 治		公 募
C 地 区	岸 田 直 樹		中筋西農会代表
	山 本 洋 一	広 報 部 会	中筋西自治会代表
	池 野 増 男	環 境 管 理 部 会	中筋西自治会代表
	鎌 田 耕 次		曾根町農会代表
	臼 井 英 司	5 役相談役・環境管理部会	曾根町農会代表
	松 田 茂 弘		曾根町農会代表
	井 澤 勝		曾根町農会代表
	前 橋 秀 夫		曾根町農会代表
	角 谷 昌 則		曾根町農会代表

これから2年間よろしくお願ひします。(役員任期は2年です。)

(広告)

平成 20 年度事業報告

役員会、各部会の開催

(役員会 11 回(うち五役会 9 回)、広報部会 7 回、環境管理部会 2 回 開催)

平成 21 年度活動計画

1. まちの将来像実現のための取り組み

- ・協定違反物件防止活動
- ・市街化調整区域にふさわしいまちづくりの検討

2. まちづくり協議会活動

- ・役員会の開催
- ・広報部会開催「みんなのまちづくり」の発行
- ・環境管理部会開催「現況調査の実施」
- ・行政および関係団体との連携・調整

3. その他、まちづくり協議会の目的達成のために必要なこと



平成 20 年度決算報告

収入額	390,679円
支出額	100,417円
差引	290,262円 (平成21年度へ繰越し)

平成 21 年度予算

収入額	396,000円
	内訳 (繰越金 290,262円 市助成金 100,000円 広告料、その他 5,738円)
支出額	396,000円

(広告)

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

明姫幹線南地区まちづくり協議会 事務局：高砂市まちづくり部まちづくり推進課

TEL：079-443-9033

FAX：079-443-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp